

モモタマナ

科名 シクンシ

学名 Terminalia catappa

別名 コバテイシ



区分 くぶん もくほんるい
木本類

分布 ぶんぷ おがさわら おきなわ ちゅうごくなんぶ たいわんとう
小笠原、沖縄、中国南部、台湾等

葉の形 はかたち さかさらんけい
さかさ卵形

葉の縁 はふち ぜんえん
全縁

葉の先 はさき えんけい
円形

葉の種類 はしゅるい たんよう
単葉

葉の付方 はつきかた そくせい
束生

葉の基部 はきぶ ややみみがた
やや耳形

実の種類 みしゅるい かくか
核果

花・萼色 はながくいろ しろいろ
白色

説明 せつめい こうえん がいるじゆ う たか いじょう はんらくようせい こうぼく みき ふと
公園や街路樹などに植えられている高さ 15m 以上にもなる半落葉性の高木で、幹の太さは直径 1m 程度にもなります。葉は革質で光沢があり、さかさらんけい なが おお
く枝の先に密生してつきます。葉先は円形、葉の基部は耳状です。花は穂状花序で白く小
えだ さき みつせい はさき えんけい はきぶ みみじょう はな すいじょうかじょ しろ ちい
さな花をつけます。実は核果で皮は繊維質、長さ 3-6 cm です。